2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	認知神経科学特論Ⅰ・Ⅲ	和田 健二

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1） 認知症および関連疾患の病態を理解する。
（2） 認知症および関連疾患の病理を理解する。
（3） 認知症および関連疾患の最新トピックスを理解し，研究に活かす。

授業到達目標

（1） 認知症および関連疾患の病態を理解し，英語論文を読める。
（2） 認知症および関連疾患の病態を理解し，学会発表ができる。
（3） 認知症および関連疾患の最新トピックスを理解し，討論ができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月	11:30-12:30	和田 健二	講義	[症例検討会]	認知症カンファレンスに参加し，症例ごとの病態について議論する。 [場所:教務員室西]
2	月 1 回	月	16:00-17:00	和田 健二	講義	[抄読会]	英語論文を抄読して，議論する。 [場所:教務員室西]
3	月 1 回	月	16:00-17:00	和田 健二	講義	[研究検討会]	認知症および関連疾患の研究について議論する。 [場所:教務員室西]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1） 紹介論文の要約について，添削して返却する。
（2） 発表時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784260041669, 認知症ハンドブック(第２版), 中島　健二・下濱　俊・冨本　秀和・三村　將・新井哲明（編集）, 医学書院, 2020

参考書

ISBN-9784260028585, 認知症疾患診療ガイドライン 2017, 認知症疾患診療ガイドライン作成委員会（編）, 医学書院, 2017
ISBN-9784498129269, 認知症テキストブック, 日本認知症学会（編）, 中外医学社, 2008

準備学習（予習・復習等）

（1） 講義ごとに紹介する文献および論文を講義までに読んでおくこと。
（2） 該当症例や疾患について，教科書や参考書予習しておくこと。
（3） 紹介論文の要約を作成しておくこと。
（必要時間：90 分）

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探索し，仮説を立て検証する科学的方法論や思考法を知悉する。
卓越した研究成果をあげ，認知神経科学の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

基礎的および代表的な英語論文を普段から読む習慣を身に着けておく。